

モンゴル経済概況

2016年7月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

【免責条項】本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

目次

1. モンゴルの基礎データ
2. 政治動向
3. GDPの推移
4. 名目GDP成長率・需要項目別寄与度
5. 実質GDP成長率の推移
6. 産業別GDP構成比の推移
7. 固定資産投資
8. 住宅物価指数
9. 民間消費・地域別平均世帯支出
10. 対外貿易の推移
11. 名目工業生産の伸び率(前年比)
12. 工業分野別PPI
13. 貨物輸送量
14. 物価(CPI)
15. 予算歳入・支出伸び率の推移
16. 貸出残高
17. M2の推移
18. 金利、預金準備率
19. ドル・円の為替レート
20. 外貨準備高
21. 主要国別輸出入
22. 主要輸出品目・鉱物製品の輸出
23. 主要輸入品目
24. 主要国・地域別直接投資額
25. 主要業種別直接投資額
26. 主要投資国・地域別投資企業数/主要業種別企業数
27. 主要外資企業の新規投資事例
28. モンゴル企業の動向
29. 日本からの直接投資
30. 日本との貿易概況
31. 日本との主要貿易品

モンゴルの基礎データ

国名：モンゴル国

面積：156万6,600平方キロメートル

人口：309万2,654人(2016年7月4日現在)

首都：ウランバートル

民族：モンゴル人(全体の95%)およびカザフ人等

言語：モンゴル語(公用語)、カザフ語

宗教：チベット仏教等(1992年2月の新憲法は信教の自由を保障)

政体：共和制(大統領制と議院内閣制の併用)

行政区分：21県、15省

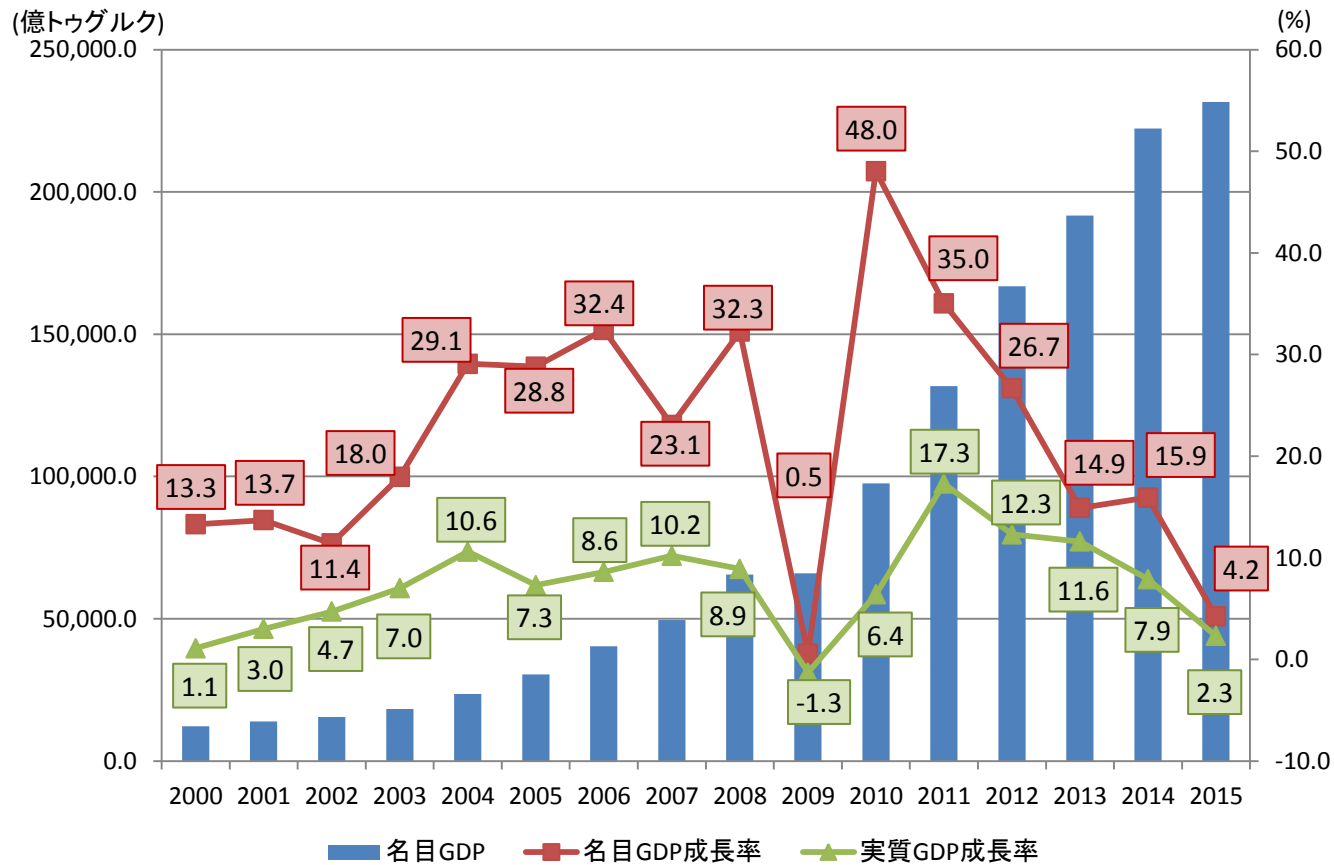
通貨：トゥグルク(100トゥグルク=約5.15円)(2016年7月4日現在)

政治動向

- (1) 2015年12月、憲法裁判所と国会が住宅の二重担保に関する憲法解釈をめぐる対立。2016年2月に憲法裁判所長アマルサナーが辞任。
- (2) 2016年4月、汚職調査局の代表、ガンボルドが自己申請により辞任。
- (3) 2016年4月、アルタンホヤグ元首相がエルベグドルジ大統領を批判するなど、民主党内の対立が続く。
- (4) 2016年4月、モンゴル人民党とモンゴル人民革命党の共同で選挙に出馬する話し合いが破たん。
- (5) 2016年4月、2015年に発足した新しい政治団体、労働国民党が数ヶ月にわたった内部対立の末、印鑑の正当性を根拠に選挙の参加権利を喪失。選挙を迎え、その他多数の新政党が成立。
- (6) 健康大臣の任命が長引き、はしかの流行への対応が遅れる。2016年第1四半期にはしかの流行などを原因に5歳までの子供491名が死亡。
- (7) 2016年5月、憲法裁判所が比例代表並立制が憲法違反だと判定。国会議員76名全員を小選挙区制で選ぶことになる。民主党和モンゴル人民党が合意したこの変化の後、民主党が小選挙区を自党に有利な形で分けし、騒動を起こす。
- (8) 2016年5月、サイハンビレグ首相がモンゴル人民革命党の大臣等の辞任を要請。
- (9) 2016年6月29日、国民大会議(国会に相当、定数は76)選挙の開催。最大野党のモンゴル人民党が過半数を大きく上回る65議席を獲得して、圧倒的勝利を収めた(暫定結果、6月末時点)。

GDPの推移

鉱物資源価格下落等の影響により近年、経済成長が減速

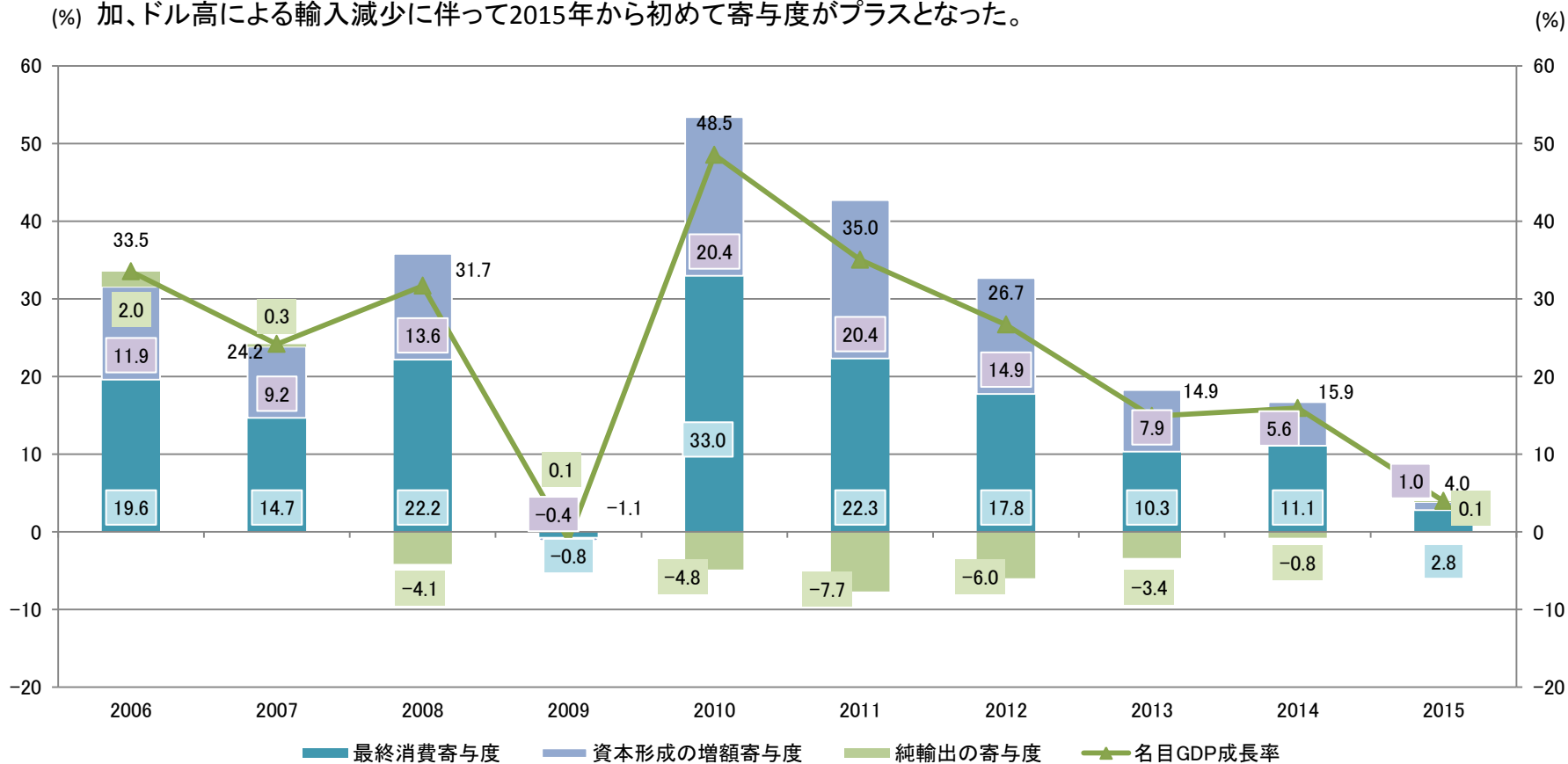


*2015年の値は速報値
出所: 国家統計局

(生産額による定義)

名目GDP成長率・需要項目別寄与度

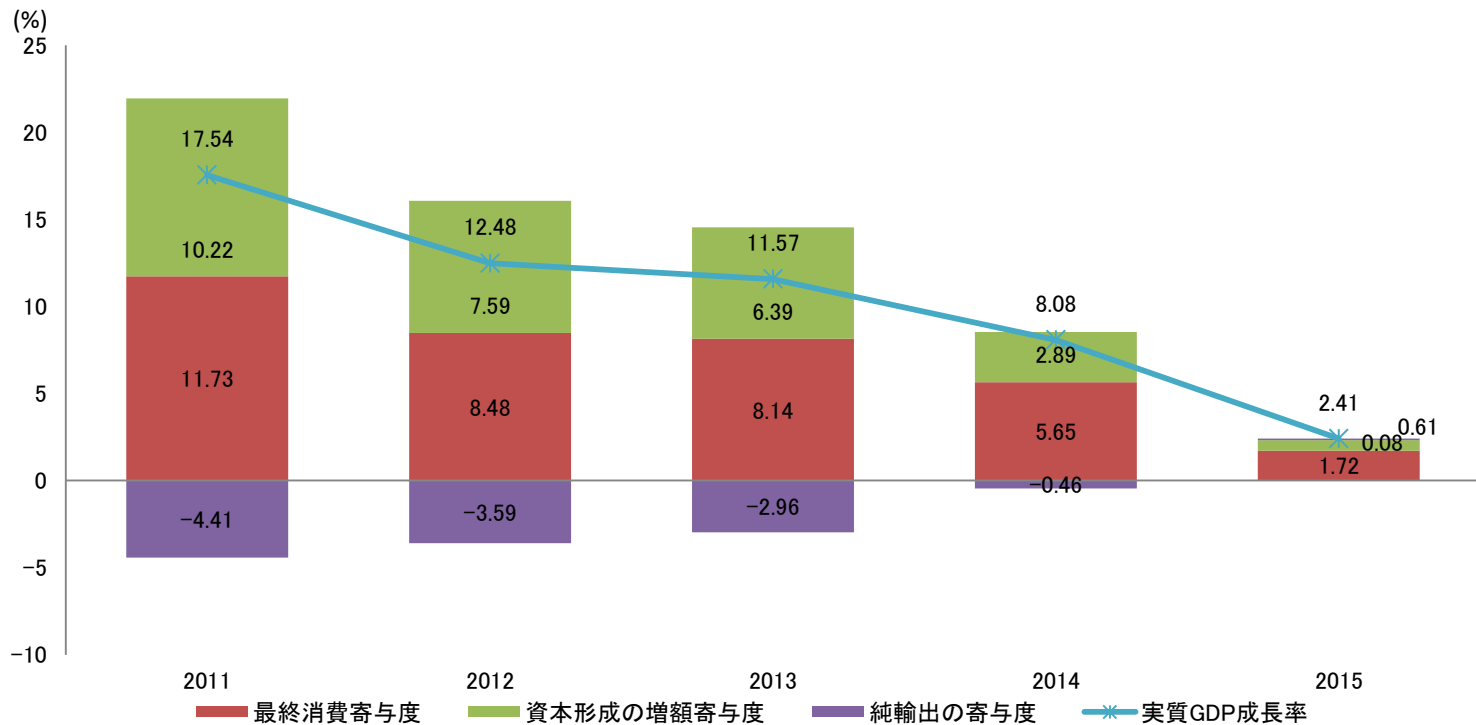
GDPに占める最終消費のウエイトは概ね7割程度で推移。一方、2011年に約6割を占めた資本形成は2015年には25%の水準に低下。純輸出については、2010年以降マイナスが続いていたが、セメントや銅等の輸出物の増加、ドル高による輸入減少に伴って2015年から初めて寄与度がプラスとなった。



*2015年の値は速報値
出所: 国家統計局

(最終消費額による定義)

実質GDP成長率の推移

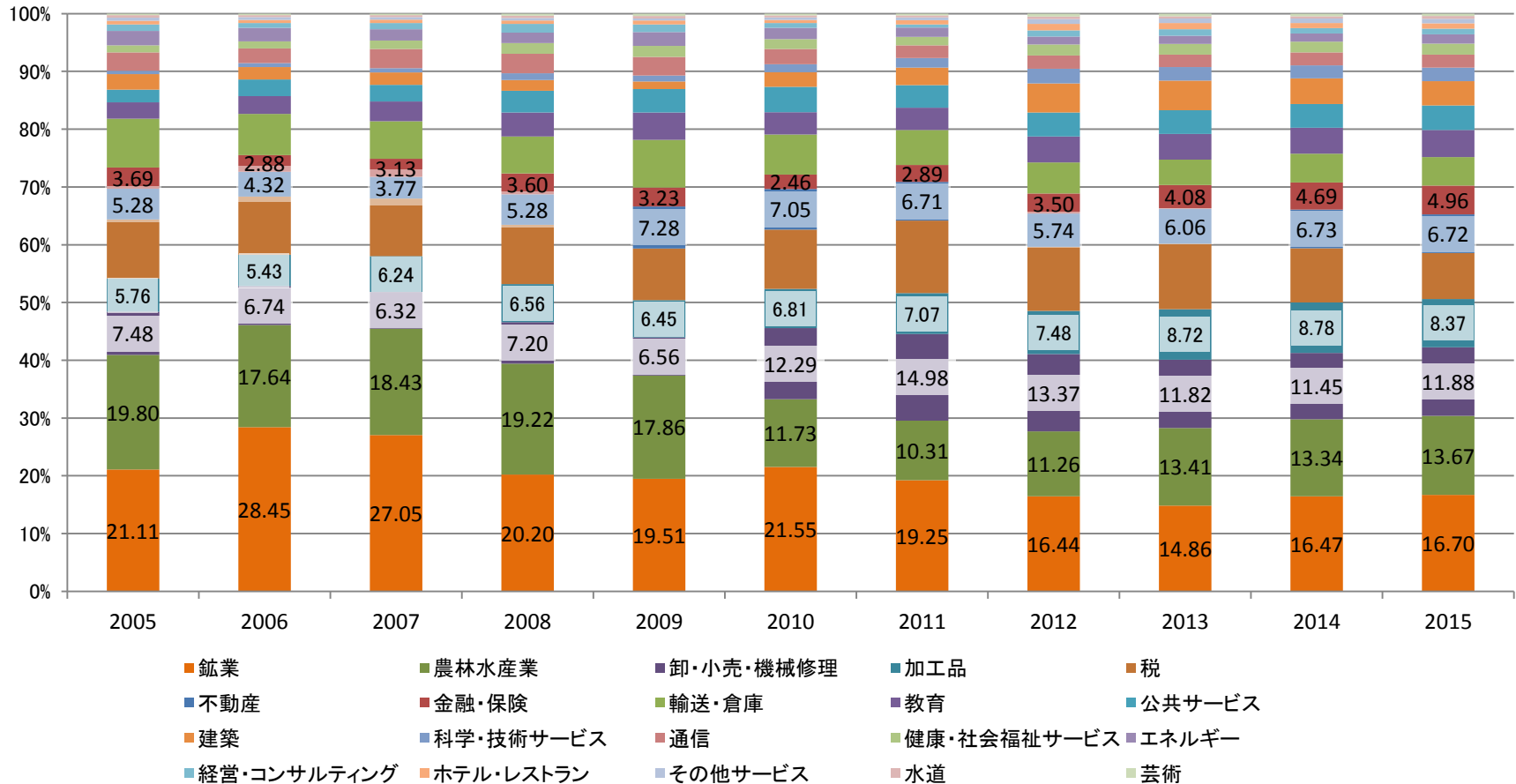


*2015年の値は速報値
出所: 国家統計局

(最終消費額による定義)

産業別GDP構成比の推移

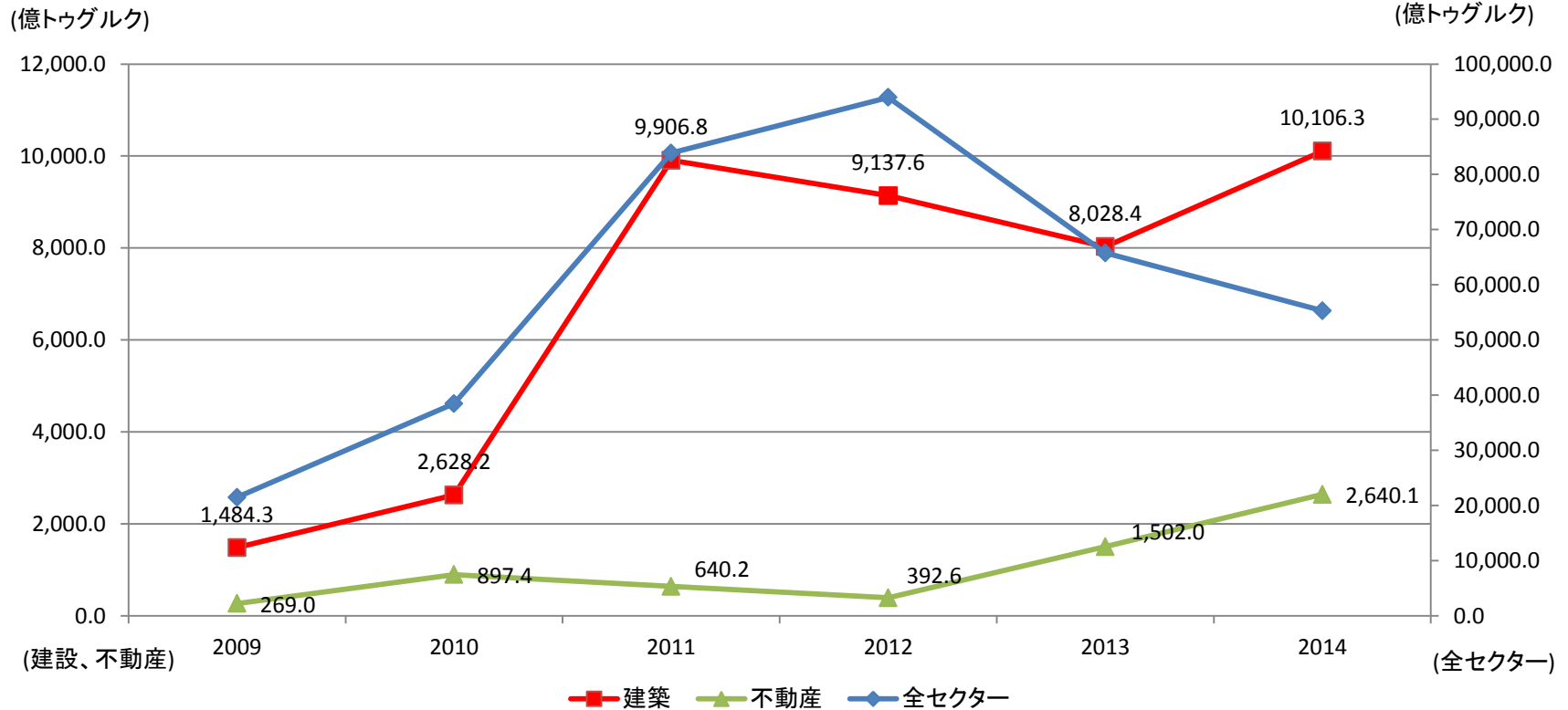
GDPを構成している5大産業分野は、鉱業、農林水産業、卸・小売、加工業、不動産である。2015年は、2010年比で、鉱業の構成比が4.8ポイント減少し、その他4分野の構成比が5.3ポイント増加した。



出所: 国家統計局

固定資産投資

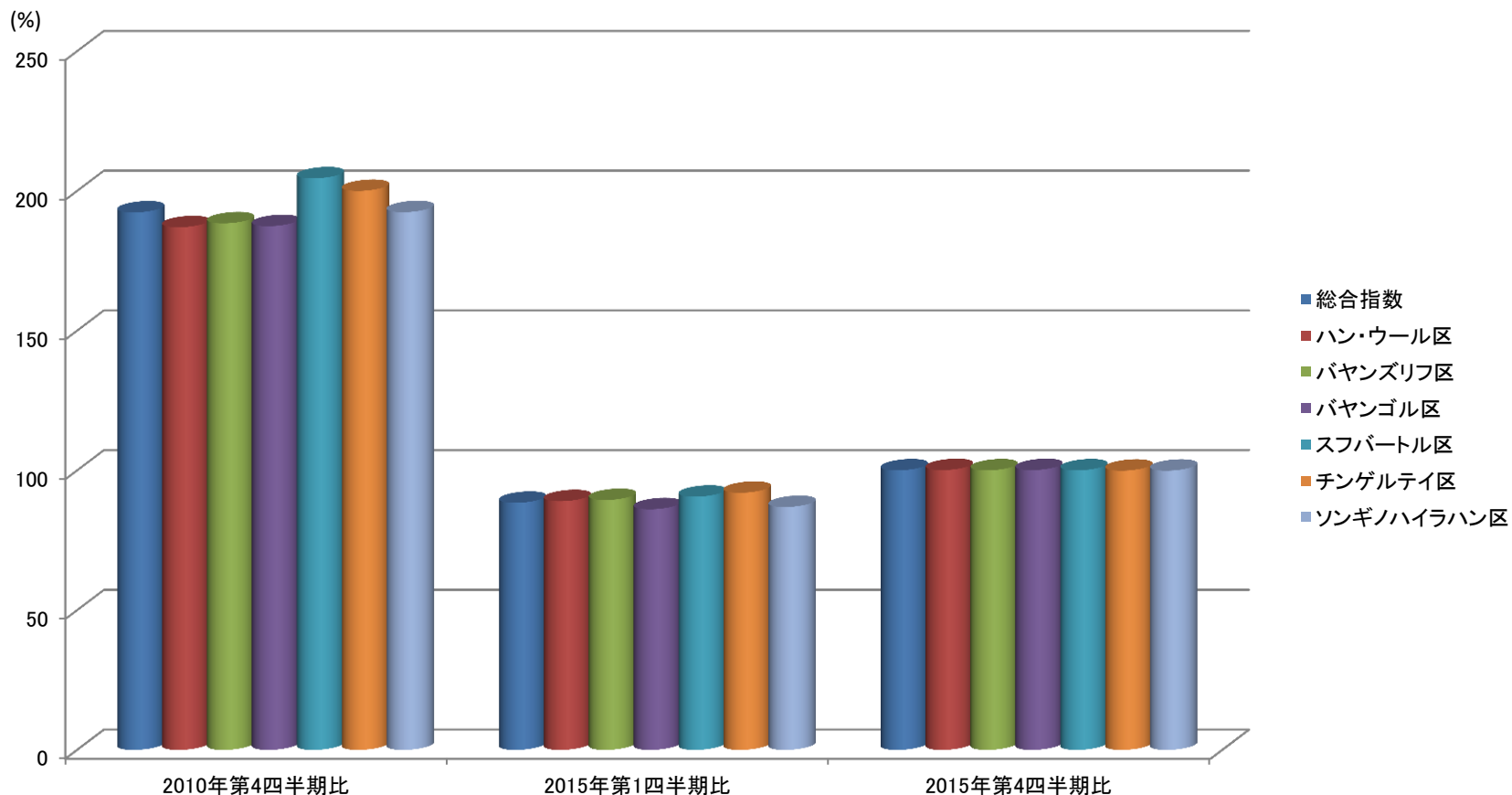
経済全体の投資額が2012年をピークに低下し続けているが、不動産業と建築業は2014年は順調に回復した。この背景に、建築業への価格安定化プログラムや8%の住宅ローンプログラムがある。



出所: 国家統計局

住宅物価指数 2016年第1四半期

2016年第1四半期のウランバートル市の住宅物価は、2010年第4四半期に比べて約2倍上昇した。住宅の購入を支援する低金利プログラムの影響で2013年からの不景気の打撃を強く受けなかったが、2015年の後半から首都6区の住宅物価指数が2015年第1四半期に比べて8%～13%低下した。

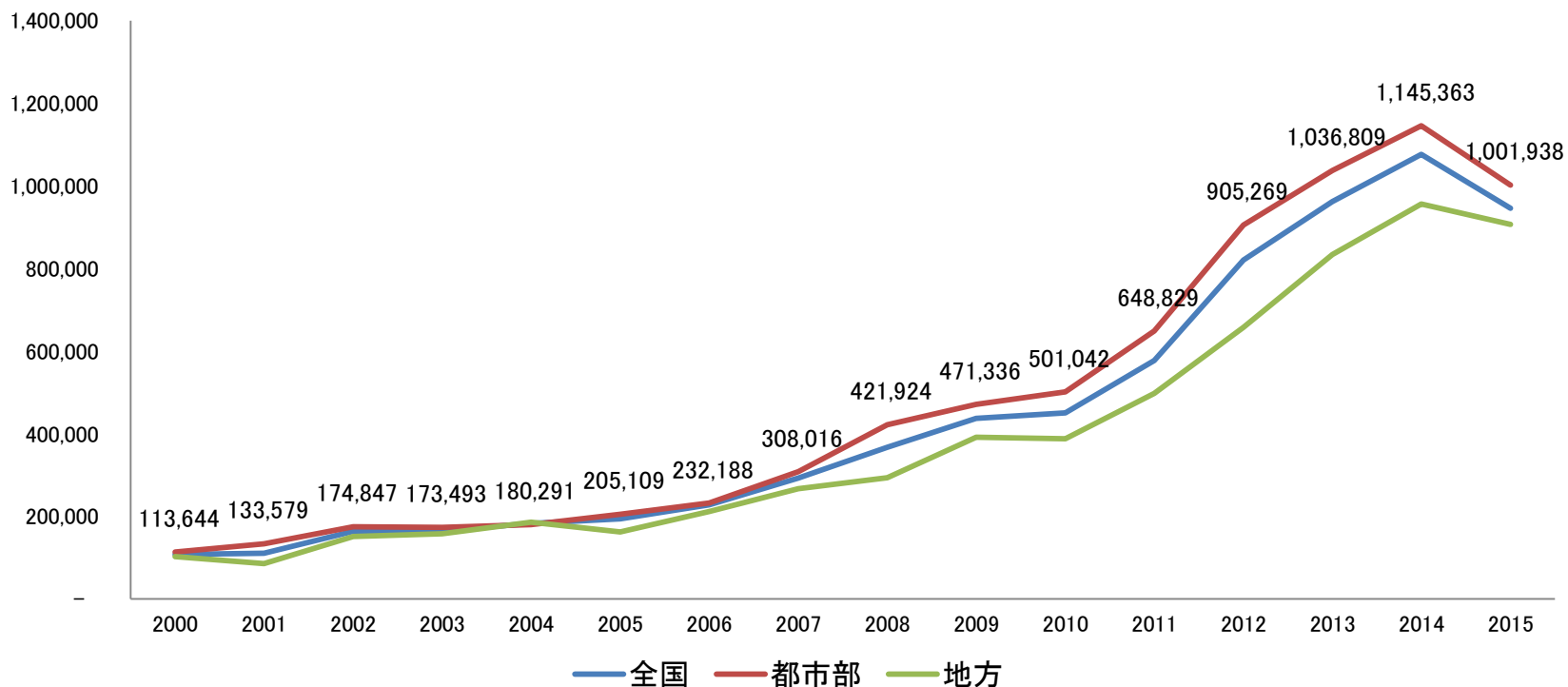


出所: 国家統計局月報

民間消費・地域別平均世帯支出

民間消費(平均世帯支出)は、2011年から2014年までの3年間で約2倍になった。この時期は、トウグルクが大量に供給された時期でもある。2015年は景気不振の影響等を受けて2000年以来初めて前年実績を下回った。

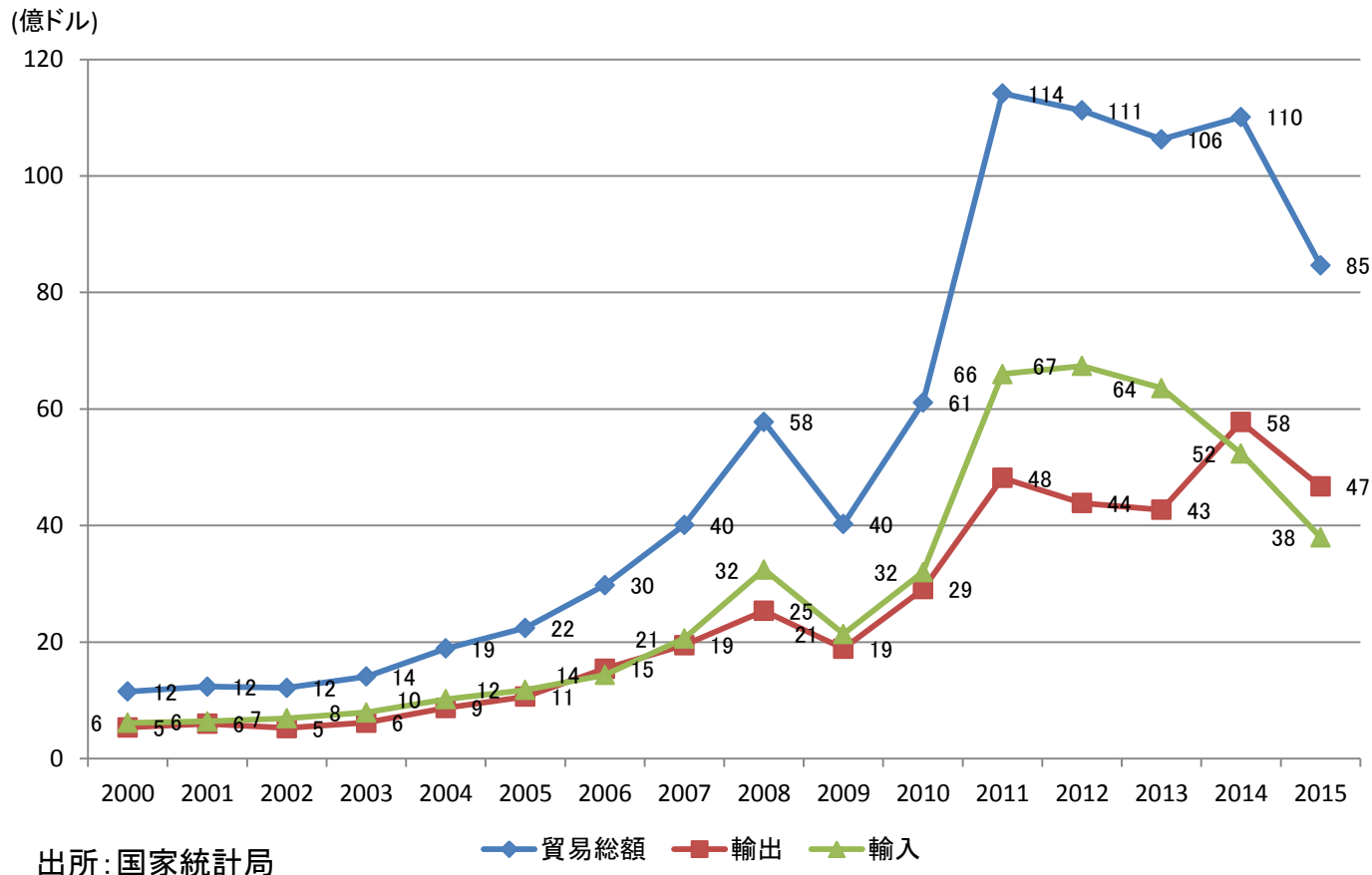
(トウグルク)



出所: 国家統計局

対外貿易の推移

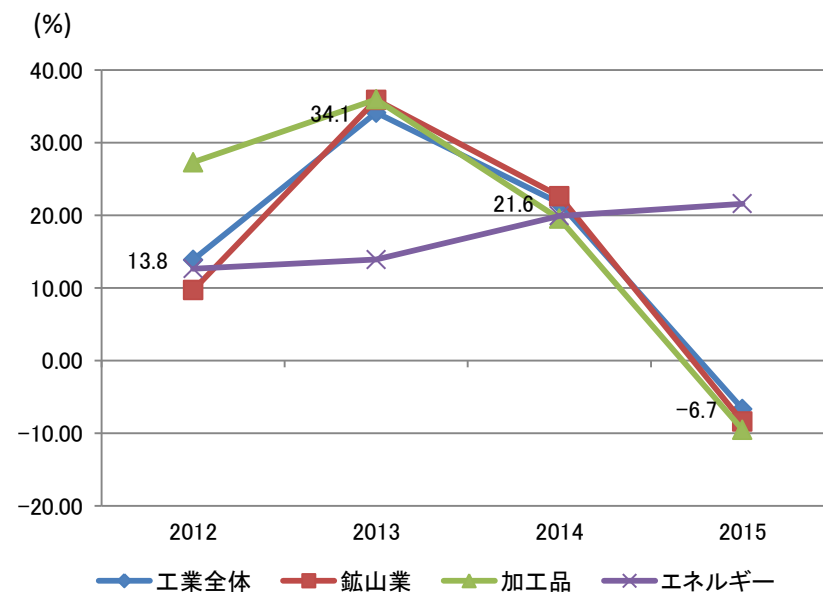
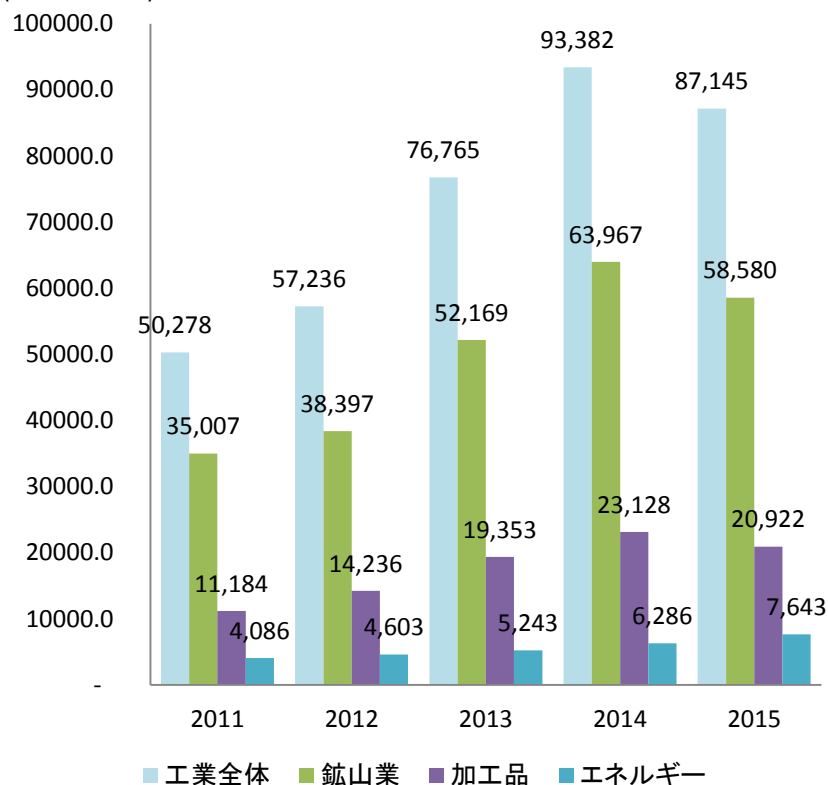
貿易総額は、2011年に114億ドルと最高額を記録後、100億ドル程度で推移したが、2015年には前年比約23%減の85億ドルとなった。輸出が2011年の水準をほぼ保つ一方、輸入は建築業の停滞や資源・エネルギー価格の下落等により急減した結果、2014年以降は貿易黒字を計上。



名目工業生産の伸び率(前年比)

工業生産は、鉱山業の不調にもかかわらずチングス債による予算投資やオユトロゴイ鉱山の生産量が増えたことにより、2014年までは拡大基調だったが、2015年マイナスに転じた。2011年の5兆278億トウグルクから2014年には9兆3,382億トウグルクまで拡大した。

(億トウグルク)

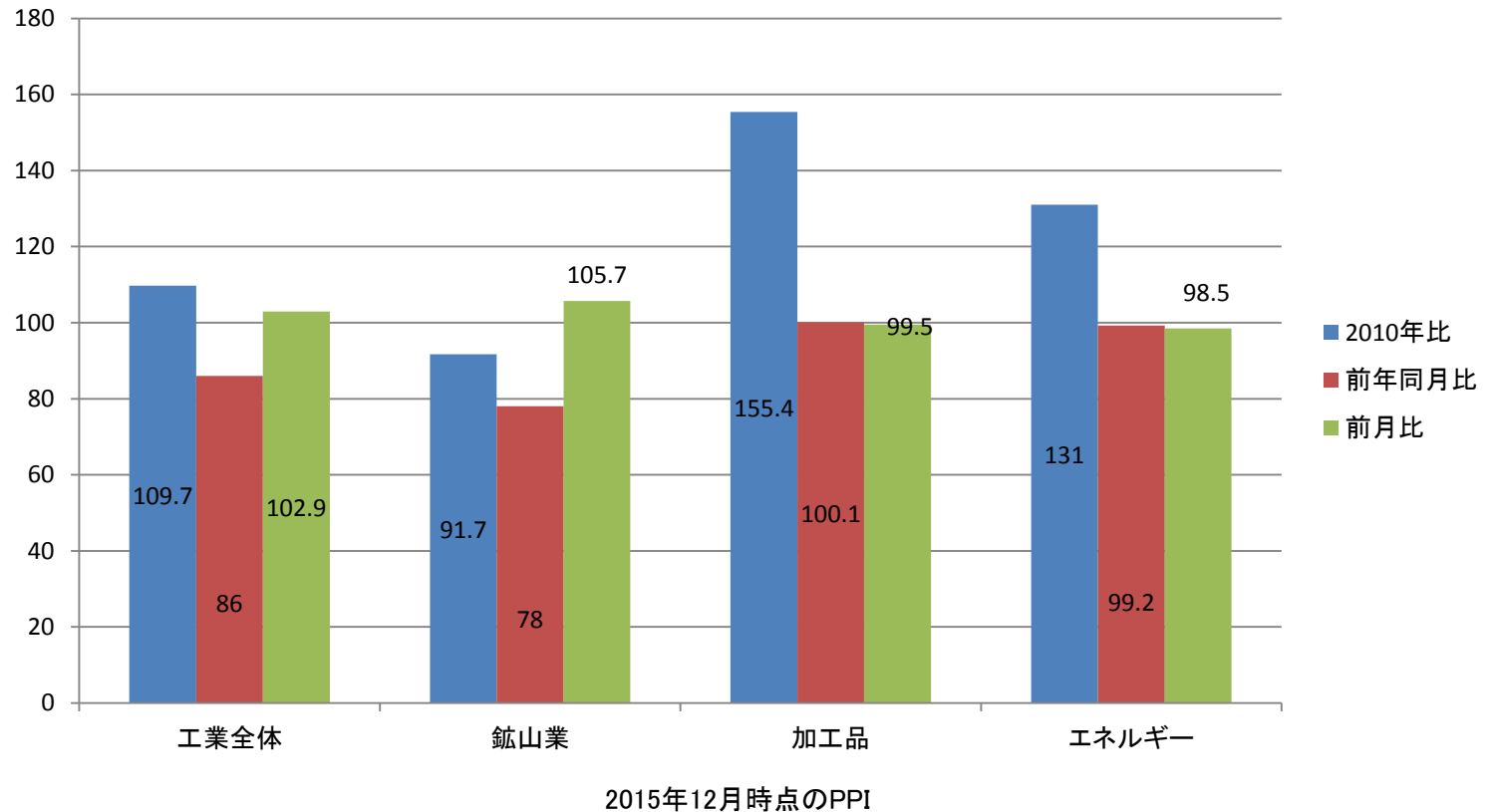


前年同期比名目工業生産の伸び率

出所: 国家統計局

工業分野別PPI

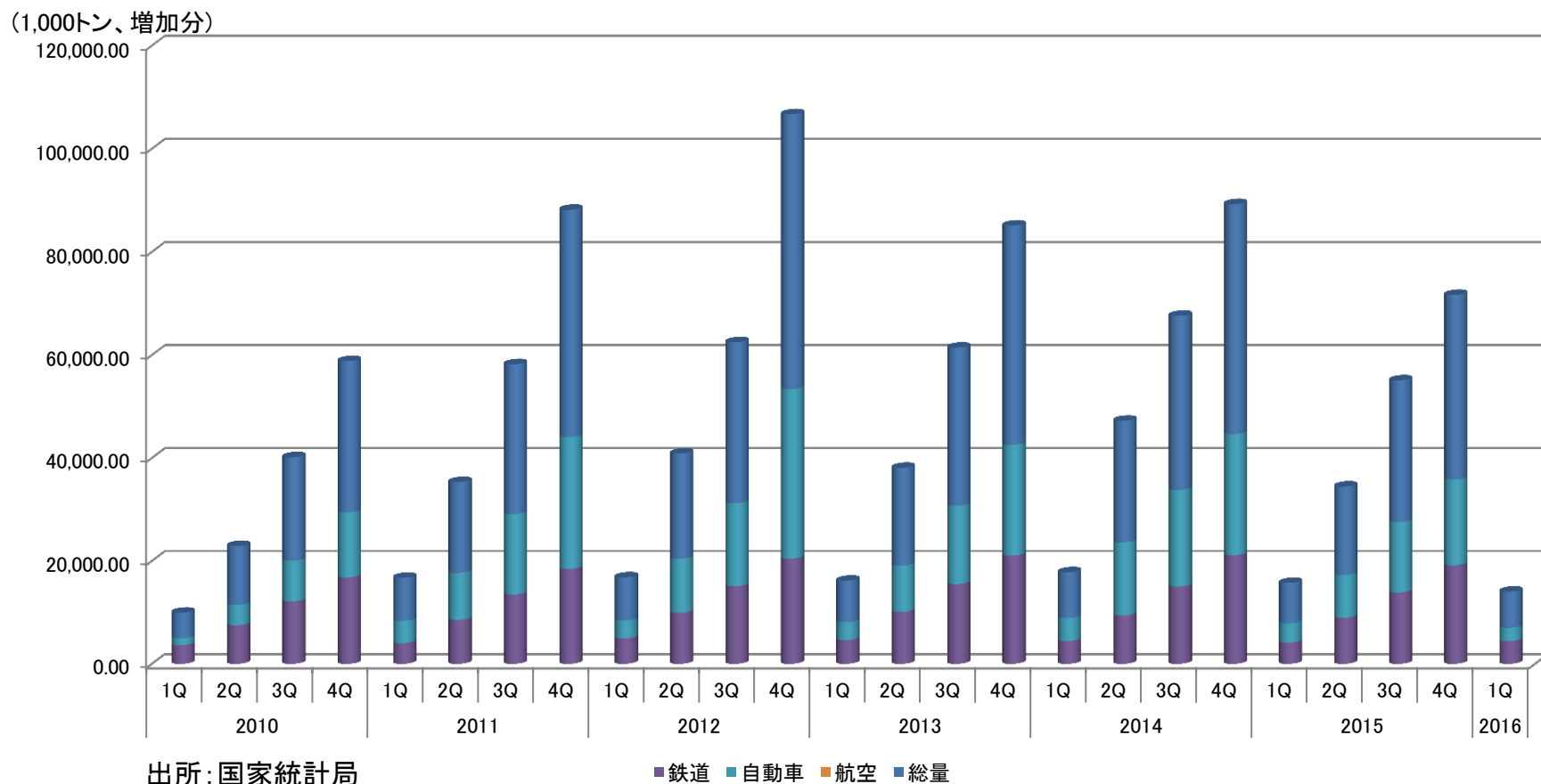
2015年PPIは、2010年比で加工業とエネルギー分野がそれぞれ55.4ポイント、31ポイント増となり、生産価格水準が大きく上昇した。鉱山業全体のPPIの低下は、主に鉱山業の生産価格の低下によってもたらされた。



出所: 国家統計局月報

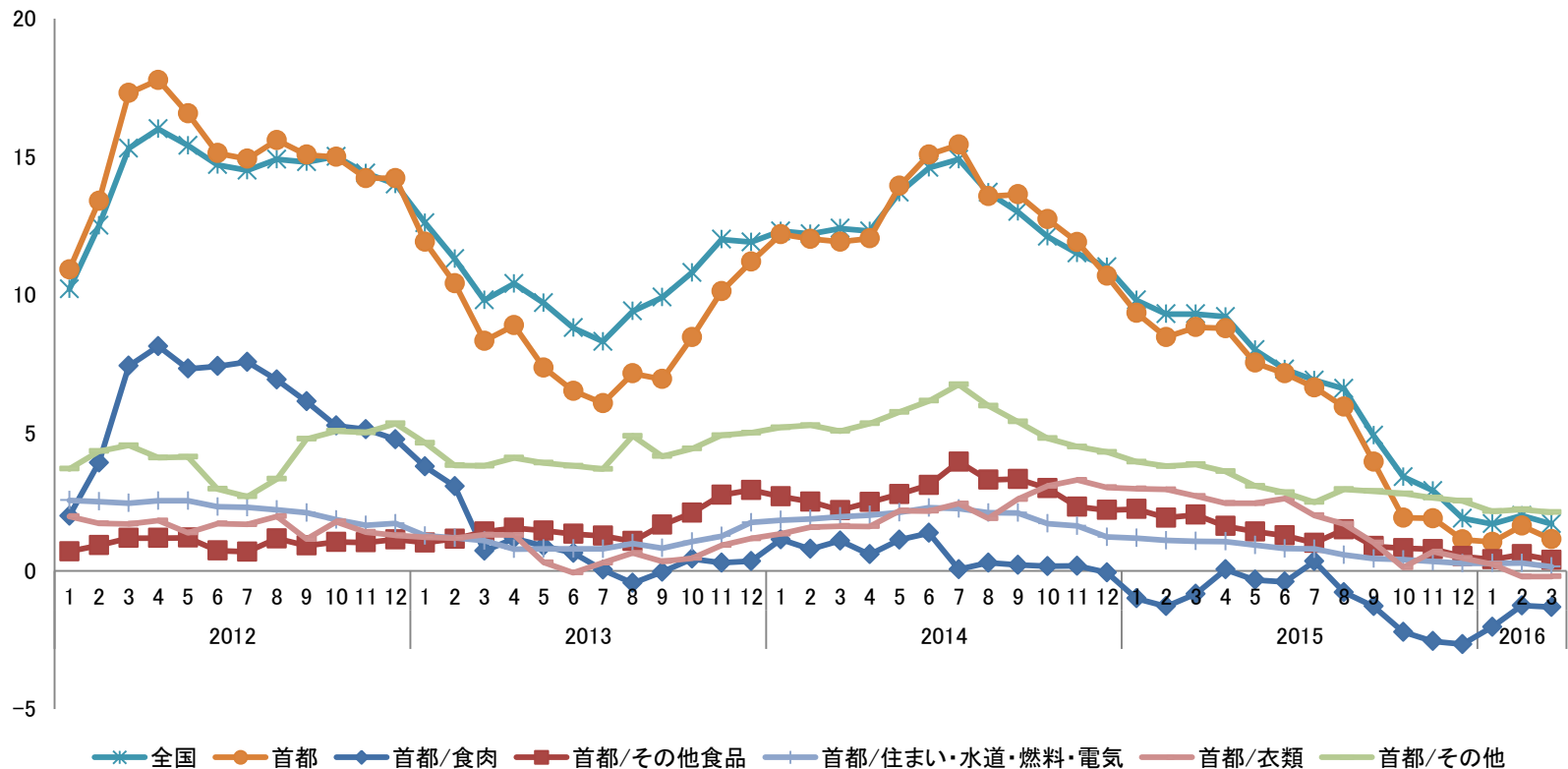
貨物輸送量

2016年第1四半期の交通手段別輸送量の構成比は、鉄道63.2%、自動車36.8%、航空0.6%を占め、航空輸送は微量に止まった。自動車は2014年第2四半期には60.2%まで拡大したものの、その後減少している。



物価(CPI)

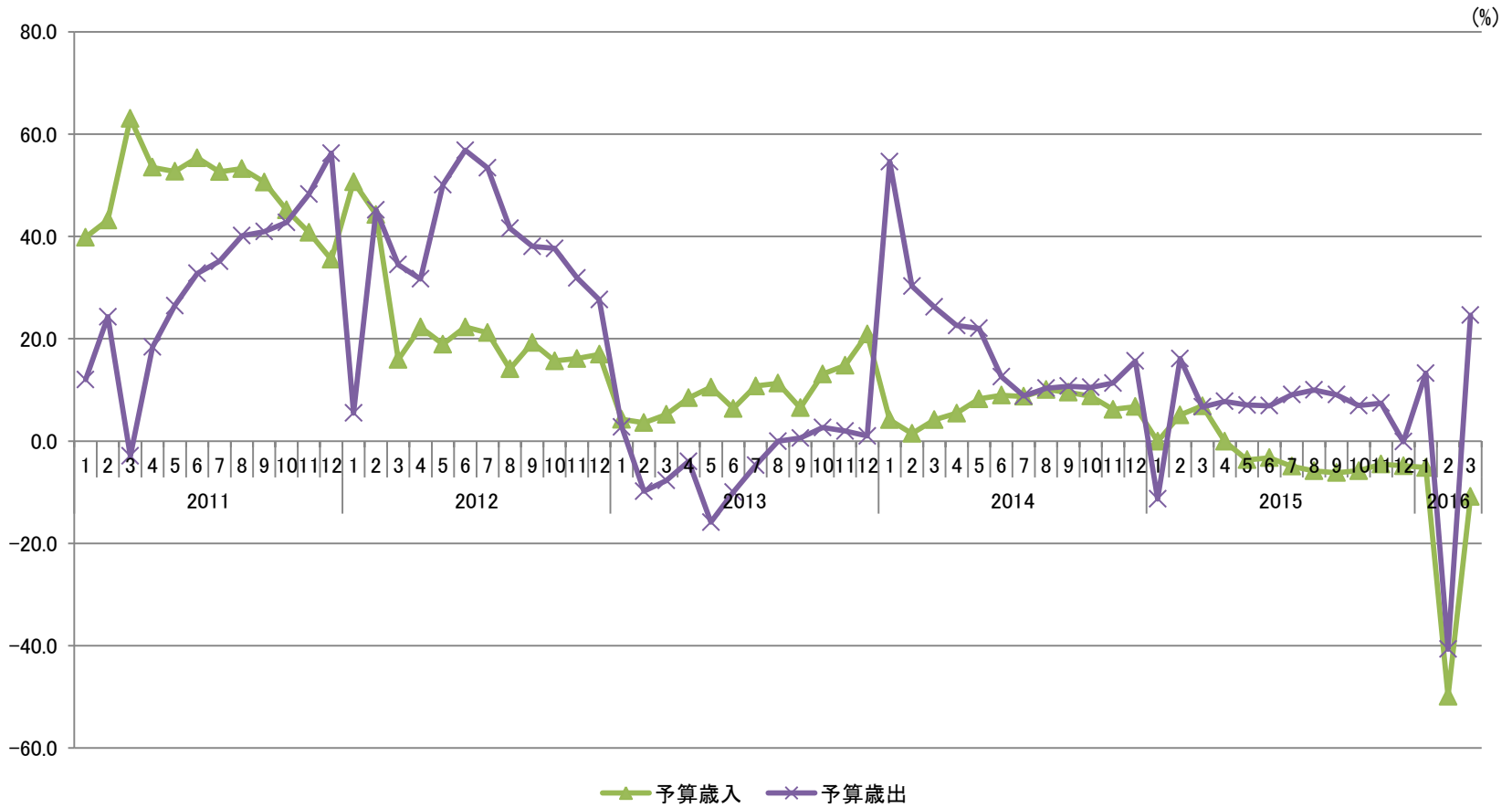
2ケタの上昇を続けたCPIは2014年後半から下落に転じた。2016年3月には1.7%となった。CPIが2%を下回ったのは食肉をはじめとする食料品の物価下落の影響が大きいとされる。



出所:モンゴル銀行

予算歳入・支出伸び率の推移

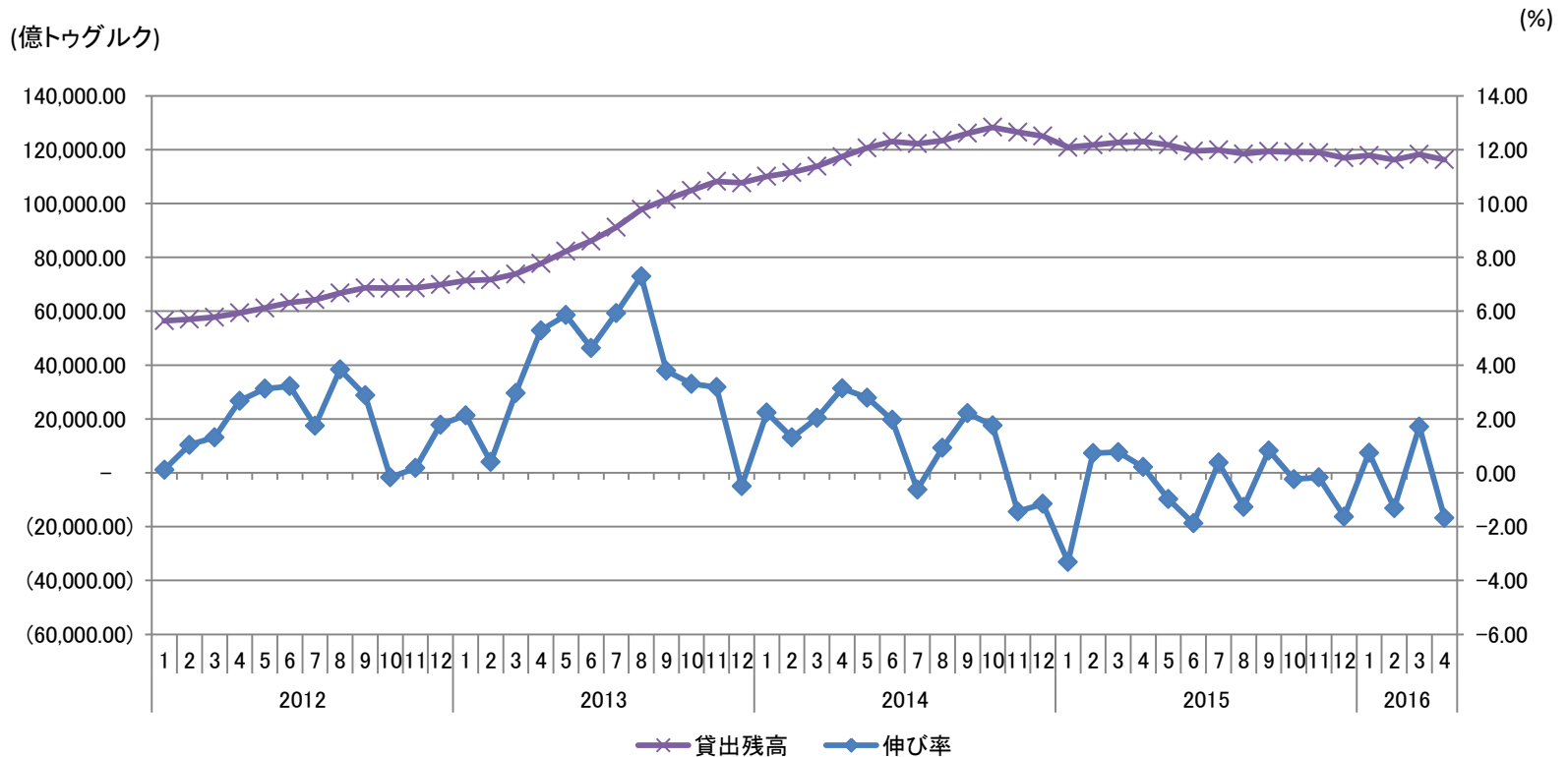
2011年には、急激に拡大した予算歳入の増加に伴い予算歳出も増大した。2015年以降は予算歳入が減少し続けているが、予算歳出の縮小は難しく、赤字が増大する現象が起きている。



出所:モンゴル銀行

貸出残高

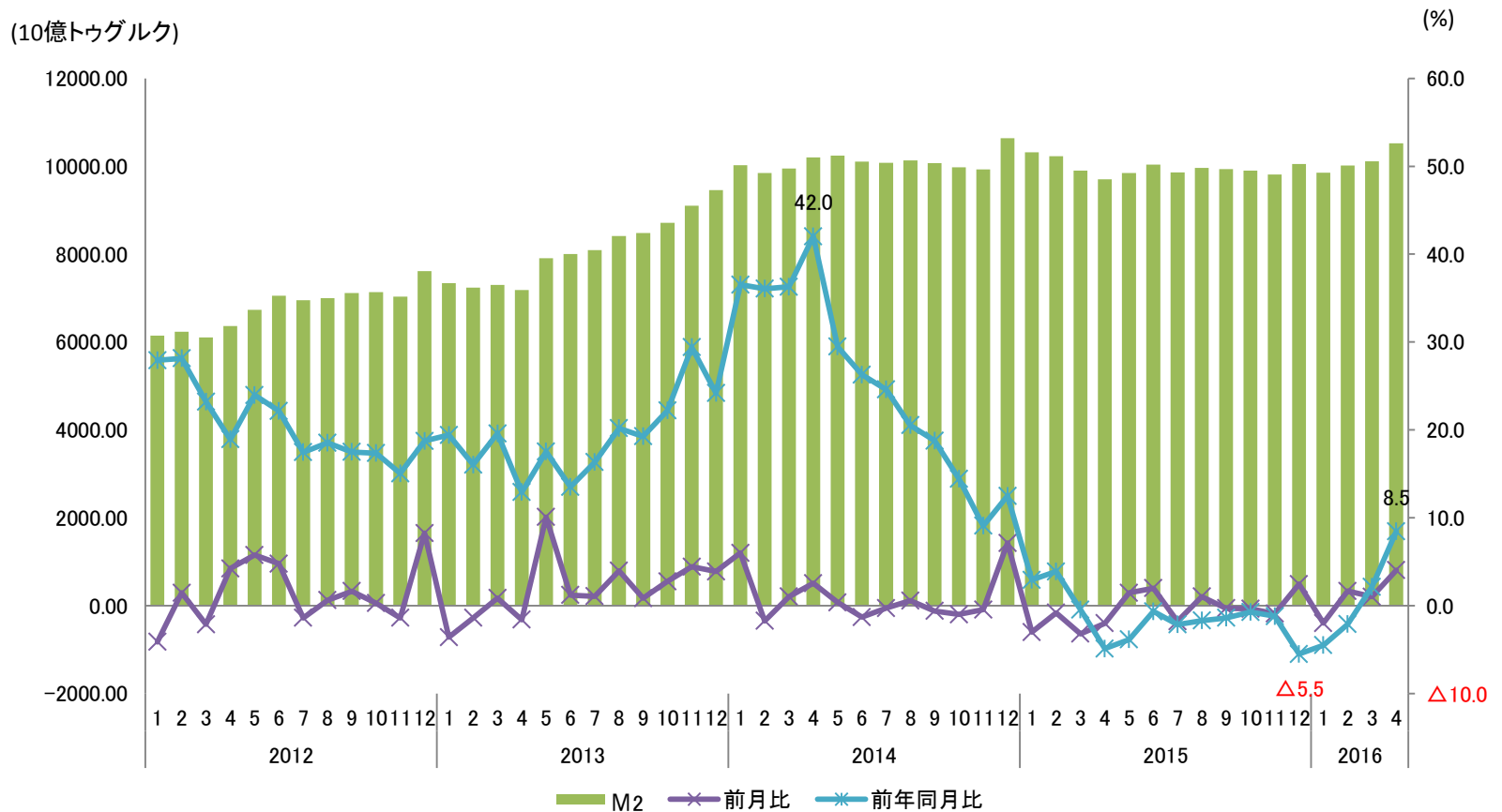
2013年から燃料や食料品の物価安定化プログラムや低金利住宅ローンプログラム、チンギス債からの輸入代替産業向けの低金利貸出などが行われたが、貸出残高の伸び率は2013年8月に7.3%に達してから減速傾向にある。



出所: 国家統計局

M2の推移

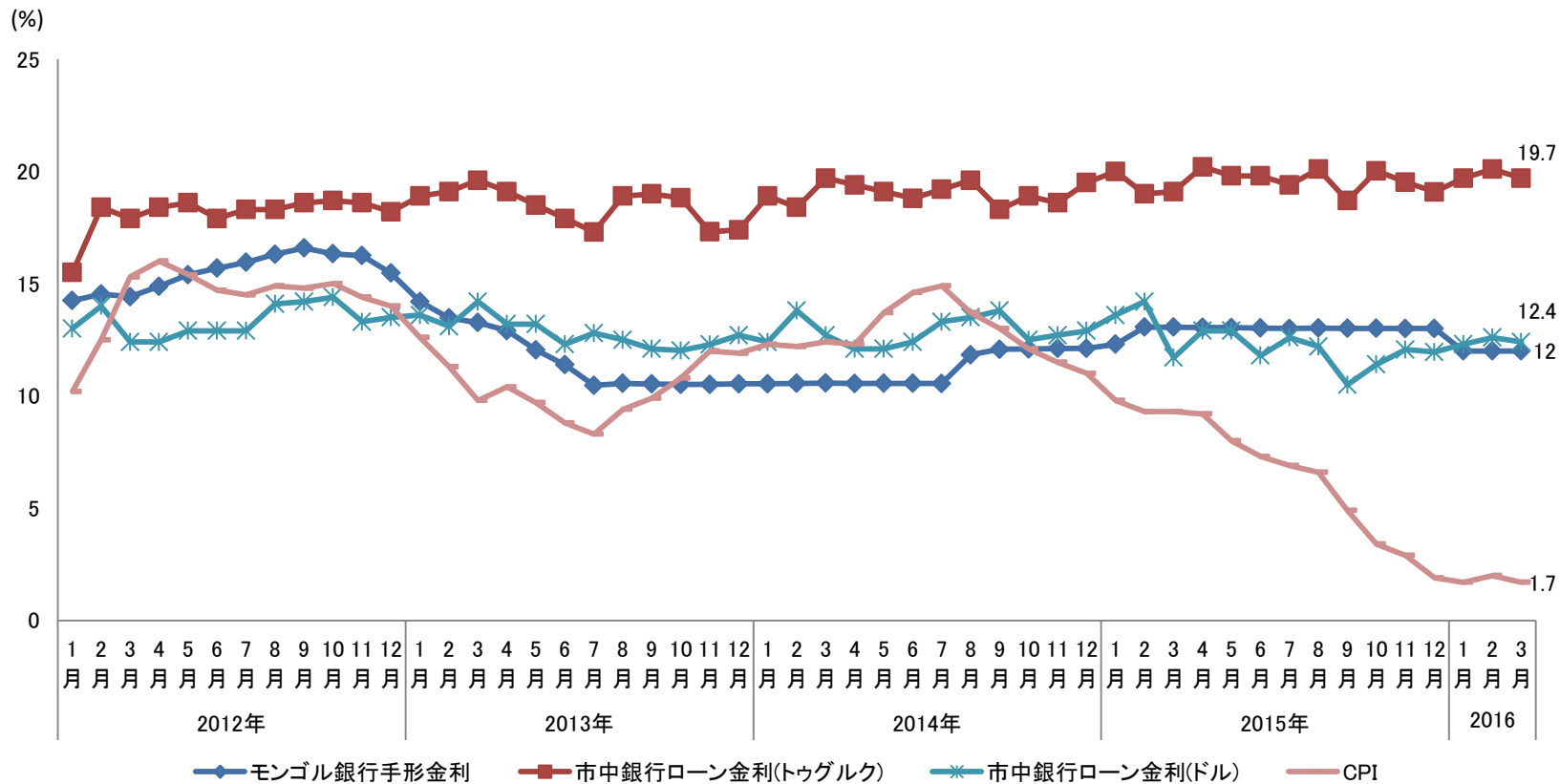
燃料や食料品の物価安定化プログラムや低金利住宅ローンプログラムの実施を受けて前年同月比42%もの伸び率をマークしたM2の伸び率は、2015年3月から2016年2月までマイナスの伸びとなったが、3月、4月はプラスに転じた。



出所: 国家統計局

金利、預金準備率

インフレ率が1.9%に下がった2015年12月にモンゴル銀行は手形金利を29ヵ月ぶりに1%引き下げ、12%に設定。その後、2016年5月にさらに1.5%引き下げた。



出所:モンゴル銀行

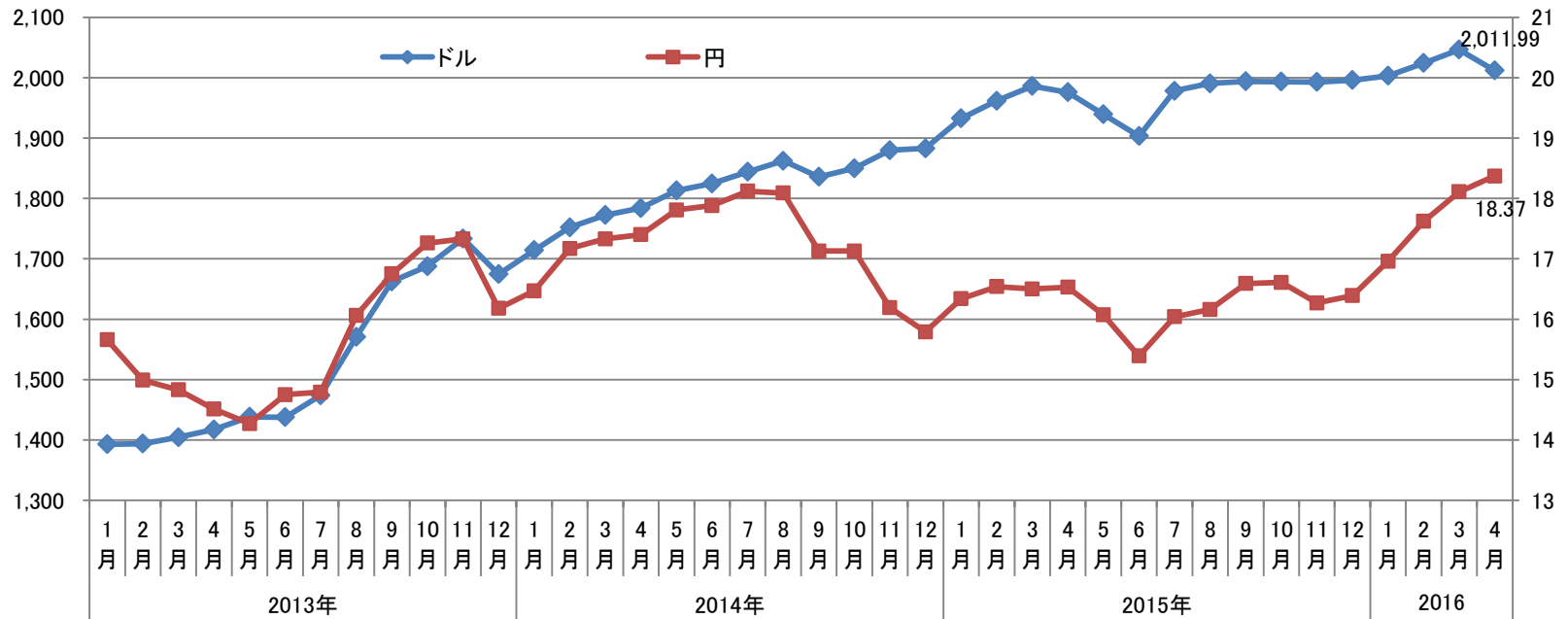
対ドル・対円の為替レート

2015年1月から1ドル1,900トゥグルク台を維持したドル/トゥグルクレートが2016年1月から1ドル2,000トゥグルクを突破(トゥグルクが下落)した。

2016年に入って円高が加速し、2016年4月に1円18.37トゥグルクとなった。

(トゥグルク/ドル)

(トゥグルク/円)



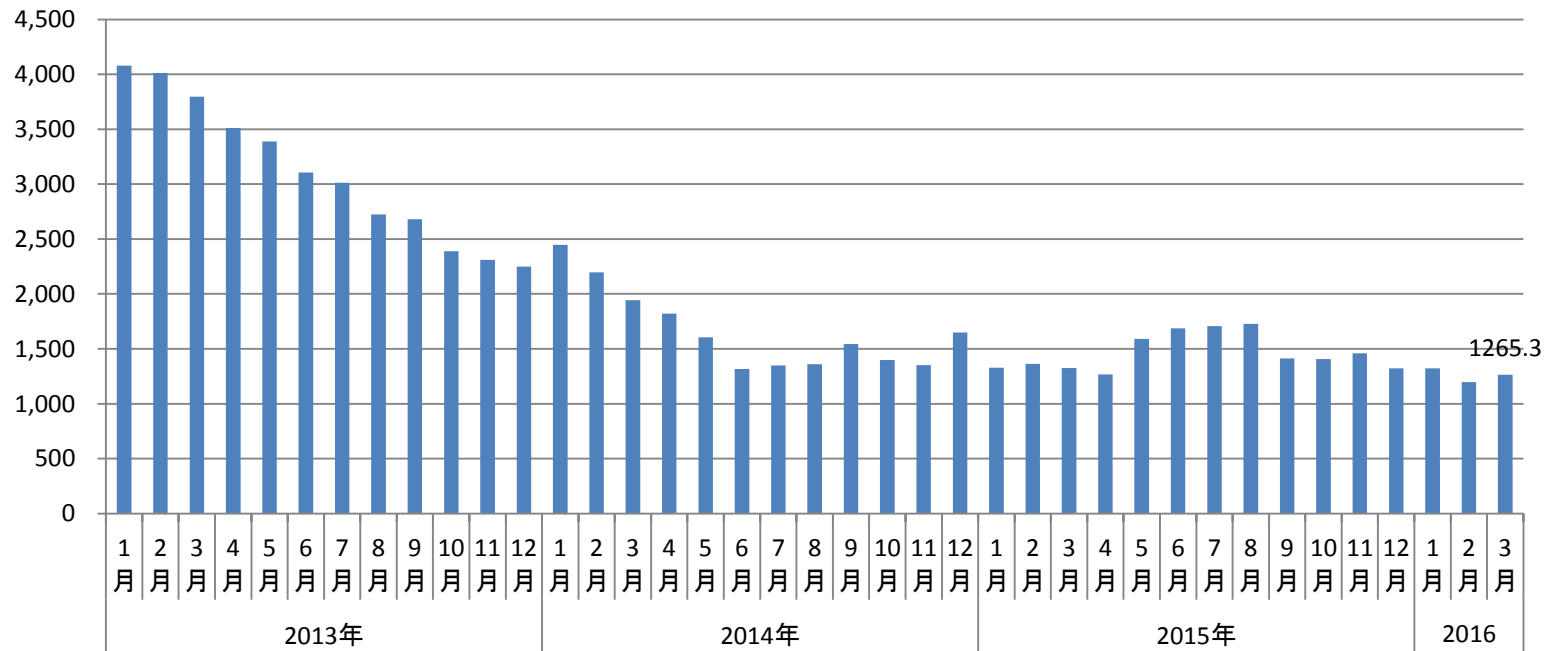
出所:モンゴル銀行

外貨準備高

2016年3月末時点のグロス外貨準備高は、前年同期比586万ドル減、前月比680万ドル増の12億6,530万ドルとなった。

(100万ドル)

外貨準備高(グロス)



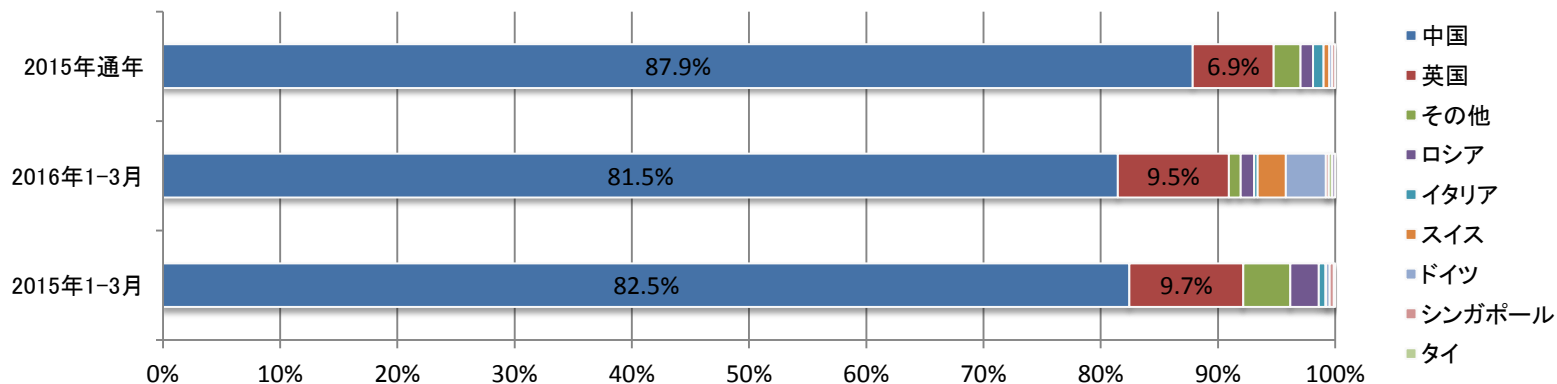
モンゴル銀行のグロス外貨準備高には下記の資産が含まれる。

1. 外国金融機関に保管している金、
2. 現金または現金でない外貨、
3. 為替手形、
4. 外国の政府・中央銀行、国際金融機関が外貨で発行・保証したすべての有価証券、
5. 国際的に外貨準備高に含まれるその他の資産

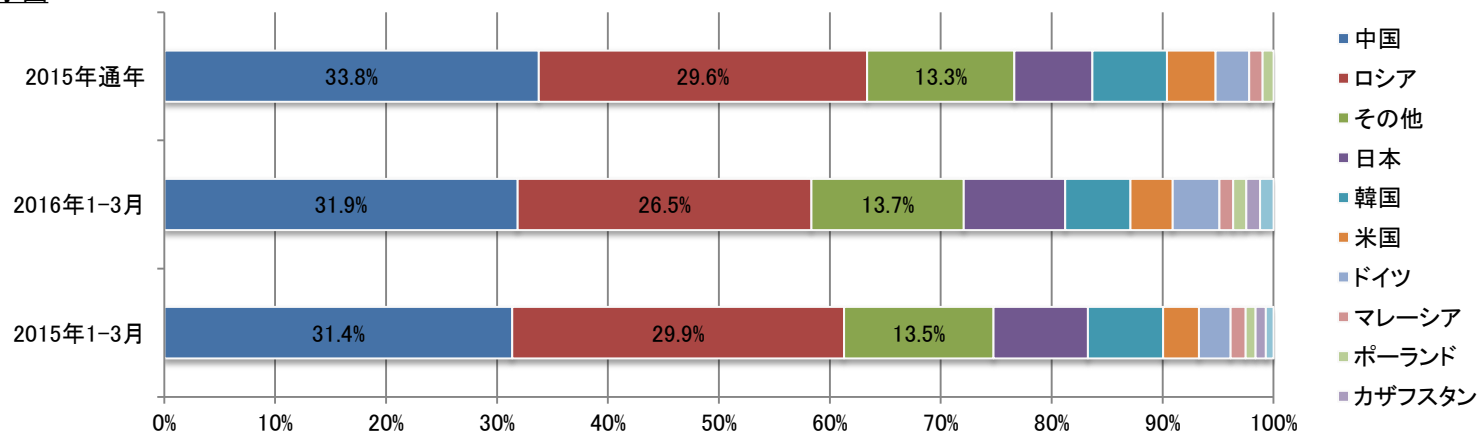
主要国別輸出入

輸出は、2015年通年の実績では中国向けが8～9割と最大で、英国、ロシア等が続く。輸入は第1位の中国と第2位のロシアがそれぞれ3割程度を占め、日本は第3位。

輸出相手国



輸入相手国



主要輸出品目・鉱物製品の輸出

銅精鉱、金(未精錬・半精錬)、石炭、原油、鉄鉱石、亜鉛鉱石、電気銅、蛍石の8種類の鉱物製品が主要輸出品目輸出額の約97%を占めている。その内、銅精鉱、石炭、原油の輸出量が増えたものの、輸出額が減少し、原料価格の下落を反映した結果となった。

主要輸出品	単位	2016年第1四半期		前年同期比(%)	
		数量	金額(千ドル)	数量	金額(千ドル)
銅精鉱	1,000トン	412.80	481,561.50	33.40	- 6.00
金(未精錬・半精錬)	トン	2.90	111,289.20	18.30	13.60
石炭	1,000トン	3,270.70	99,173.70	0.80	- 29.80
原油	1,000バレル	2,221.00	73,233.40	15.60	- 20.20
鉄鉱石	1,000トン	991.70	29,062.40	- 0.60	- 50.00
亜鉛鉱石	1,000トン	22.80	22,510.30	- 19.10	- 35.70
電気銅	トン	3,002.80	13,381.40	- 2.60	- 23.40
蛍石	1,000トン	53.50	12,179.30	- 5.20	- 7.10
牛・馬の未加工表皮	1,000枚	346.20	6,879.50	3*	4.1*
モリブデン	1,000トン	1.60	6,134.60	64.40	- 30.40
羊毛	トン	2,861.90	3,510.80	43.80	28.20
カシミヤ	トン	37.70	2,704.80	- 28.60	- 47.50
ヤギ・子ヤギの半加工表皮	1,000万m2	29.40	2,525.00	- 34.90	- 43.50
牛・馬の加工表皮	1,000万m2	19.00	2,244.40	1.60	- 6.40
馬肉	トン	1,021.00	1,826.80	- 11.90	- 26.90
タングステン鉱	トン	226.50	1,801.50	- 22.60	- 27.70
ヤギ・羊の胃腸	トン	91.60	1,383.70	- 21.00	- 46.40
子ヤギ・子羊の加工表皮	1,000万m2	13.30	800.40	- 61.90	- 75.50
馬毛	トン	159.80	629.30	n.a.	n.a.
掛け布団・旅行用掛け布団	一枚	240.00	22.50	- 18.60	- 21.00
冷凍魚	トン	15.00	20.20	- 76.20	- 76.50
動物の内臓品	トン	4.30	18.00	- 77.50	- 36.40

*倍数を表す

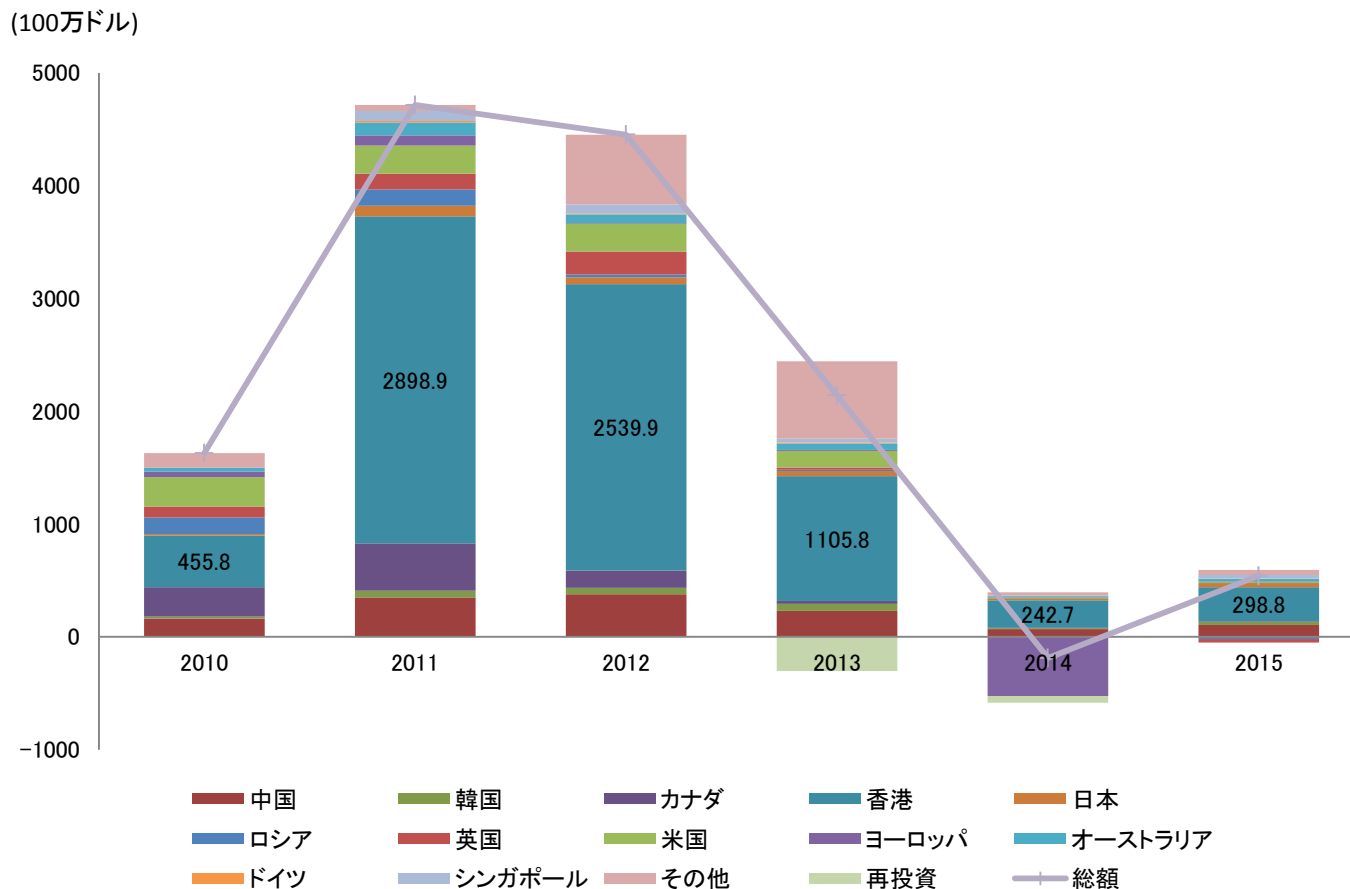
主要輸入品目

主要輸入品目18項目について、家電、砂糖、タイヤ、電力を除き減少した。

主要輸入品目	単位	2016年第1四半期		前年同期比(%)	
		数量	金額(千ドル)	数量	金額(千ドル)
自動車	一個	7,462.0	43,204.0	- 12.4	3.1
燃料	1,000トン	87.2	40,339.1	- 24.4	- 43.2
ディーゼル燃料	1,000トン	84.3	35,235.3	- 32.3	- 54.5
電力	100万キロバイト/時	353.1	32,081.4	4.1	-
通信機	1,000個	126.5	14,030.8	- 42.9	47.5
小麦	トン	70,291.3	13,549.1	- 94.5	- 95.0
医薬品	トン	n.a.	11,917.7	n.a.	- 10.2
トラック	一個	968.0	8,812.2	- 46.1	11.2
情報処理機器・その付属品	1,000個	15.0	8,352.8	- 15.3	27.4
土・石を処理する機械	1,000個	6.3	7,837.7	- 19.2	- 37.2
新しいタイヤ	1,000個	26.9	6,193.3	18.8	- 45.4
菓子類	トン	2,779.6	5,390.2	- 15.4	- 17.9
クレーンの部品	1,000個	27.3	5,301.3	- 31.0	- 8.1
砂糖	トン	9,475.9	4,416.9	37.3	31.6
テレビ・画面	一個	17,481.0	3,892.1	- 72.3	- 57.2
小麦粉	1,000トン	13.2	3,439.1	- 96.3	- 97.0
冷蔵・冷凍機械	一個	12,634.0	3,285.0	- 21.9	- 17.3
家電	1,000個	61.6	3,062.4	13.8	- 15.4

主要国・地域別直接投資額

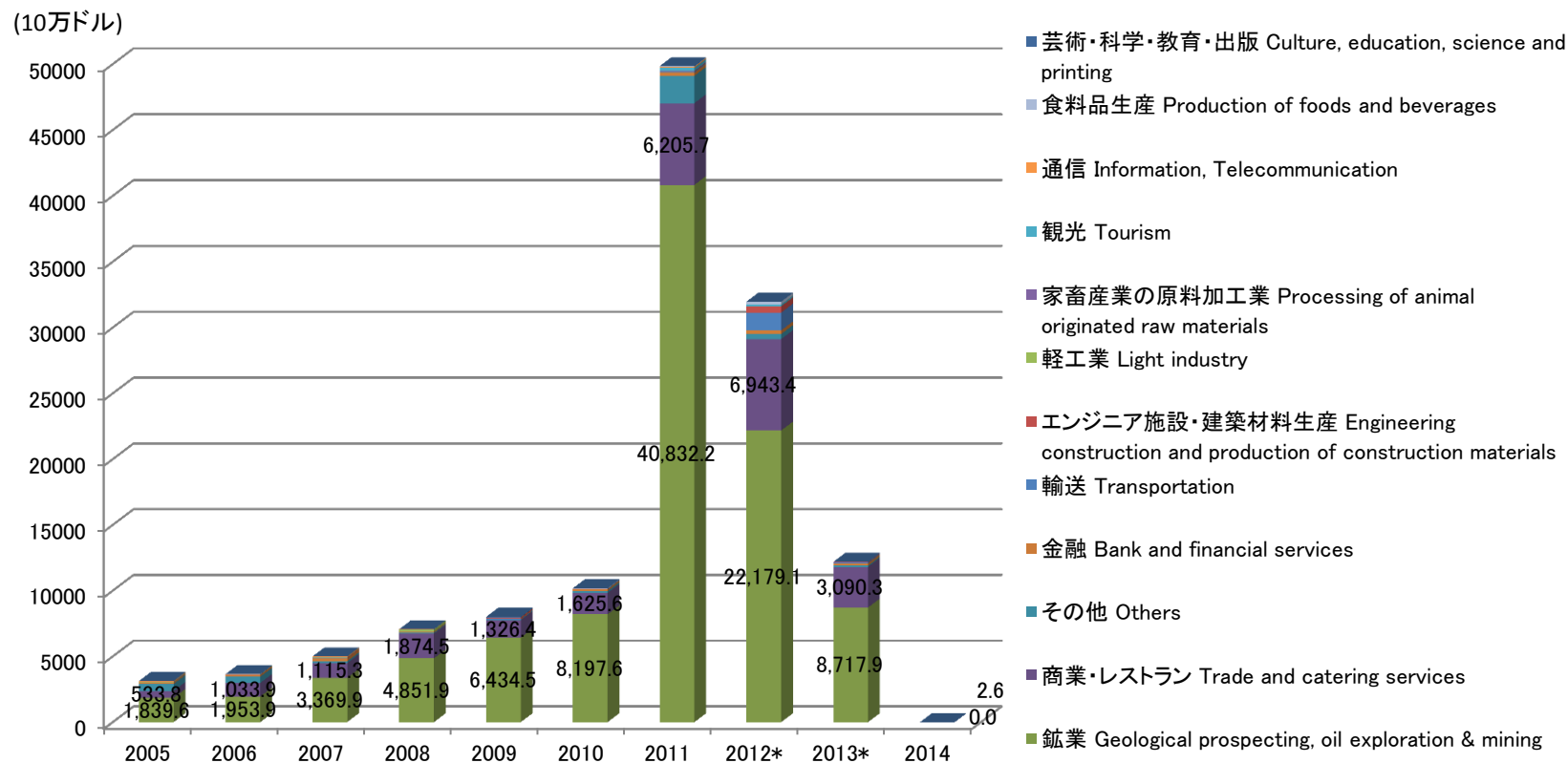
直接投資が急増した2011年には、香港・カナダ・中国の3ヵ国・地域の合計で直接投資総額(47億1,500万ドル)の約8割を占めた。2014年以降香港からの直接投資は、急減した。2015年現在も香港からの投資が最大だが、最高時(2011年約29億ドル)と比べて約10分の1の水準にとどまった。2014年の外国投資総額は1億8,800万ドルの引き上げ超過、2015年は5億4,200万ドル。



出所: モンゴル銀行対外セクター概要2010-2015

主要業種別直接投資額

業種別直接投資額の推移は、主要経済指標と同様に2011年～2012年を頂点とした山形を描く。投資額で鉱業に続く第2位の商業・レストラン分野は、2008年～2009年の不況時にも緩やかな成長を維持したが、2013年以降は急減した。



・2012年の第4半期、2013年のデータにはモンゴル銀行の国際収支のデータが含まれていない。モンゴル銀行は、商業銀行の情報に基づいて直接投資を計算する。

・上記データに直接投資として提供された輸入品(関税当局が処理するデータ)の情報は含まれていない。

主要国・地域別投資企業数

モンゴル政府・投資局によると、2015年8月現在の主要国・地域別の直接投資企業数は、合計1万3,326社。このうち、中国が6,549社、全体の約5割を占めて最大。次いで韓国(2,333社)、ロシア(860社)、**日本(557社)**、米国(305社)等の順となっている。

主要業種別投資企業数

2015年8月現在、主要業種別の直接投資企業数の構成は、貿易・レストランが9,312社で全体の7割を占める。このほか、鉱業(416社)、エンジニア施設・建築材料生産(399社)、観光(318社)、軽工業(190社)、食料品生産(182社)、家畜産業の原料加工業(158社)、輸送(134社)、通信(110社)等となっている。

主要外資企業の新規投資事例

投資予測額:10億ドル

業種:エネルギー

製品:電力

主要消費者:オユトロゴイ社

予定されているプロジェクト完了日:2021年～2022年

モンゴル側の協力主体:モンゴル政府

投資企業:丸紅

2016年2月末にタバントルゴイ火力発電所建設プロジェクトの選定に向けた入札が行われ、日本の丸紅株式会社が権利を獲得した。モンゴル政府は3年前からタバントルゴイ火力発電所建設プロジェクトの執行委員会を立ち上げ、外国の独立系発電事業者25社に対して参入を要請した。関西電力及び丸紅、韓国の大宇E&C、フランスのGDF SUEZ及び POSCO ENERGYのコンソーシアムは最後まで残ったが、執行委員会は丸紅を選定した。プロジェクトファイナンスは三井住友銀行株式会社、法務コンサルティングはShearman Sterling社が行う。

出所:[タバントルゴイ発電所プロジェクトホームページ](#)
[スタンダード・プロパティーズグループホームページ](#)

モンゴル企業の動向

乳製品メーカーが隣国の市場へ進出

・企業動向

乳製品メーカーTesoがカザフスタンと中国の消費者向けに粉ミルクを輸出。

乳製品メーカーAPUが香港へ「Maamuu」子供向けの飲むヨーグルト・ミルクを輸出。

・貿易動向

2015年に乳製品の輸入が減少し、乳業を含む農業のGDPに占める構成比が上昇。TesoやAPU、Suuの3大乳製品メーカーの競争が激化。その他、中小企業も参入。各社は、国内市場のシェアを確保しつつ、乳製品の需要が拡大するロシア、中国、カザフスタン、香港など隣国の市場への進出を狙う。

・政府方針

2013年からマックスグループなどの国内企業による現代的な酪農場の設立を支援する低金利ローンプログラムを実施。2016年4月にヨーグルトやアイスクリームなど、乳製品を含む100品目を超える輸入品の関税率引き上げを実施。

(写真出所)

APU社フェースブックページ(転載許諾済み)

Teso社工場代表エルデネビレグの取材時に撮影

Suu社のホームページ(転載許諾済み)



Teso製ドライミルク
カザフスタンへ輸出



香港のスーパーに
Maamuu飲むヨーグルトが並ぶ
APU

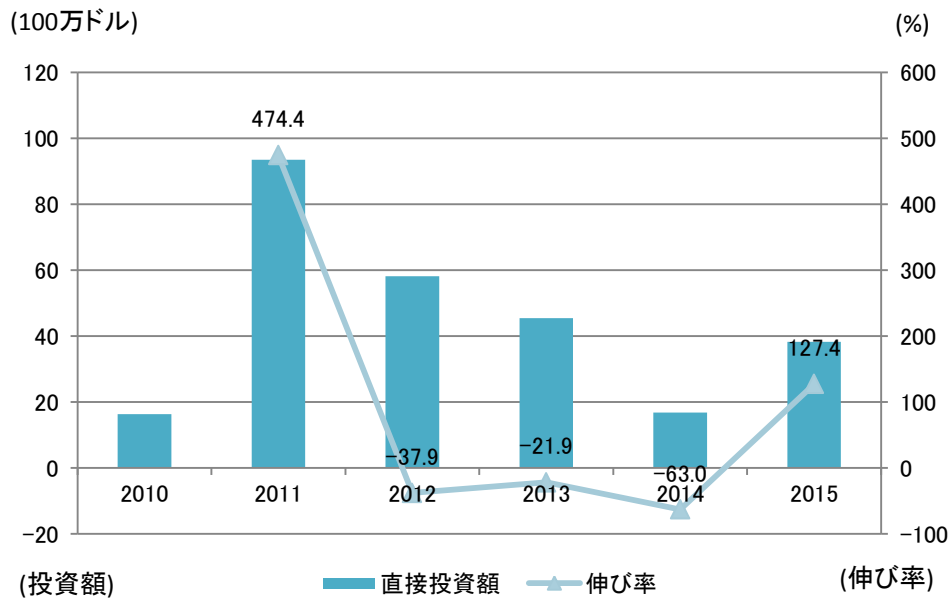


政府の低金利ローンを使った現代的なファーマ
マックスグループ

日本からの直接投資

日本からの直接投資は、2011年の9,350万ドルから2014年に1,680万ドルまで減少したが、2015年には3,820万ドルに増加した。日本からの主要企業は、通信、銀行、製造、鉱業、鉱山機械・建設機械の販売、建設やエネルギーなどの分野となっている。

日本からの直接投資



主要投資企業名 (順不同)

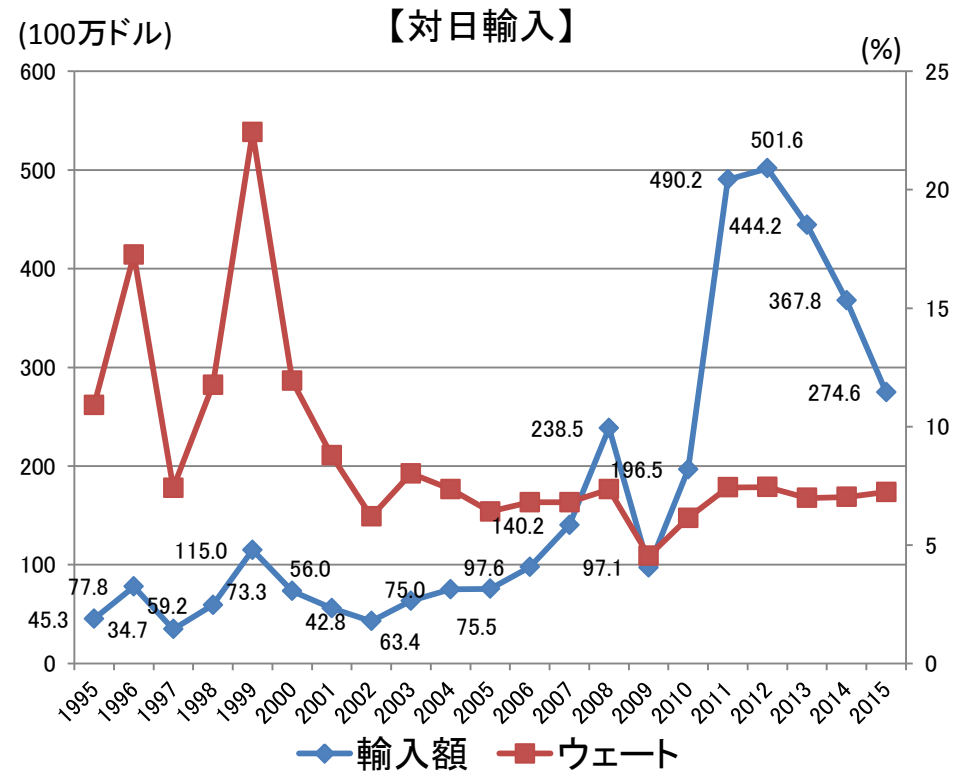
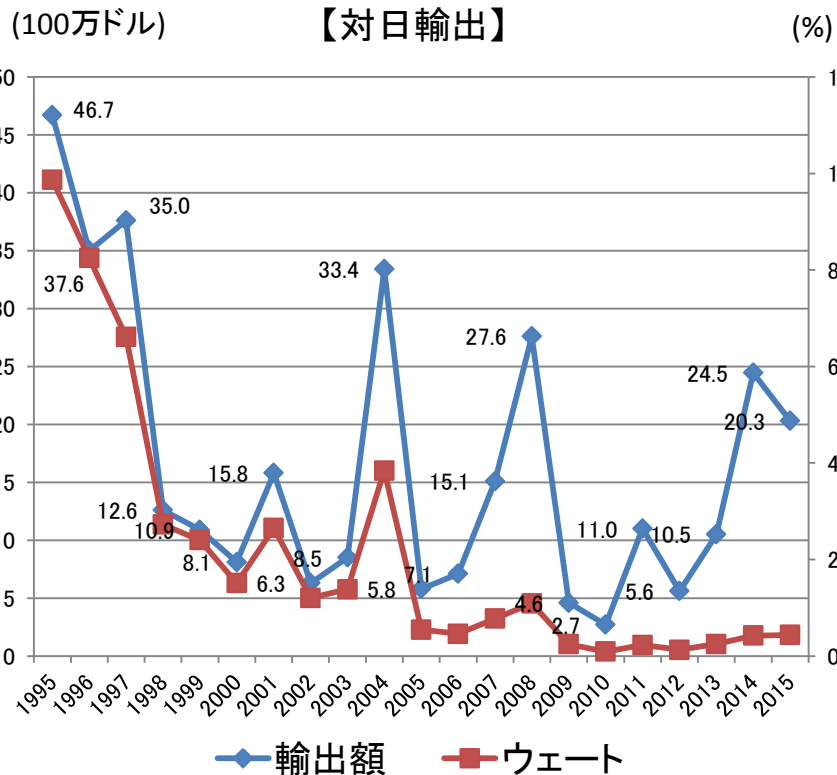
KDDI
澤田ホールディング
賛光精機
丸紅
双日
三菱商事
住友商事
スルガコーポレーション
会沢高圧コンクリート
ネクサス
旭栄工務、
いずみガーデン
東海運
SBエナジー
KPMGあずさ監査法人
サイサン
日産自動車
オリックス

出所: モンゴル銀行対外セクター概要2010-2015

出所: [日本モンゴル貿易投資データブック2013](#)

日本との貿易概況

日本向け輸出額は、過去20年間で変動を繰り返しながら2015年現在は95年の最高水準と比べて半減した。一方輸入額は2011～2012年には高水準で推移した。2013年以降の輸入は、資源価格の下落、経済成長の減速等を背景に3年連続で減少。



出所: 税関局

日本との主要貿易品目（2015年）

2015年の日本向け輸出は2,032万ドル（前年比約2割減）で、銅精鉱が総額の37.9%を占める。
日本からの輸入は、輸出額の約13.5倍に当たる2億7,464万ドルで、自動車が生産額の65.7%を占める。

				(1,000ドル)
Export goods	輸出品	単位	総量	金額
Guts, bladders and stomachs of animals.	動物の臄、筋及び原皮くず	kg	15,045.18	1,070.8
Copper ores and concentrates.	銅精鉱	kg	4,621,618.00	7,706.8
Other made up clothing accessories, knitted or crocheted.	テキスタイル	unit	41,293.00	1,305.0
Machines and mechanical appliances, having individual functions.	機械	unit	912,554.00	1,087.4
Diodes, transistors and similar semi-conductor devices; photosensitive semi-conductor devices.	半導体等電子部品	unit	9,877.00	2,474.5
- Other	その他			6,670.9
輸出総額				20,315.3
Import goods	輸入品			金額
New tyres.	タイヤ新品	unit	16782.0	14,824.1
Motor cars and other motor vehicles principally designed for the transport of persons .	自動車	unit	33825.0	180,346.0
Other	その他			79,470.9
輸入総額				274,639.1

レポートをご覧いただいた後、アンケート(所要時間:約1分)にご協力ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20160042>

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
海外調査部 中国北アジア課

〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32

TEL : 03-3582-5181

E-mail : ORG@jetro.go.jp

禁無断転載